



うえのきたしょう 上野北小だより

だいごう
第7号 2024(R6).9.30

はっこうしゃ とうちよう たなか ともしこ
発行者 校長 田中 智彦

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか 全国学力・学習状況調査の結果から

がつ ぜんこく ねんせい たいしよう じっし ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか し
4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせし
ます。本年度も、国語と算数の2教科が実施されました。

がくりよくちようさけっか...ぜんこく ひかく
学力調査結果...全国との比較

	国語	算数
全国比較	やや下回っている	下回っている

がっこうせいとうりつ ぜんこくせいとうりつ ひかく ぼいんとさいじよう じようげ あらわ
*学校正答率が全国正答率と比較して、5ポイント差以上の上下を表しています。



ほんこう けっか じょうき けっか ぶんせき ほんこう つよ かない きょうか あき
本校の結果は、上記のようでした。この結果を分析し、本校の強みと課題を教科ごとに明らかに
し、今後の授業改善に活かしていきます。その一端を、今回は紹介していきます。

こくご 【国語】

領域	国語
話すこと・聞くこと	やや下回っている
書くこと	やや下回っている
読むこと	やや下回っている
言語の特徴や使い方	やや上回っている
情報の扱い方	やや下回っている
我が国の言語文化	下回っている

しりょう かんじ か と もんだい いったい せい か
まず、資料1のような漢字の書き取り問題について、一定の成果
が見られました。昨年度から取り組んできた朝のモジュール学習
「ゴールデンタイム」により、漢字の習熟が進んできたことが一因
であると考 えられます。引き続き取組を継続すると同時に、その
内容をよりバージョンアップさせていくことによって、より習熟を
図 っていきたいと思っています。

しりょう わ くに げんごぶんか かん じこう
また、資料2 のような「我が国の言語文化」に関する事項に、
かだい みう ものがたりぶん え せかいかん たの
課題が見受けられました。物語文から得られる世界観を楽しめる
ような読み方が必要だと考 えられます。これまでも行ってきた
どくしすいしん すず ものがたりぶん なか つか
読書推進をさらに進めていくと同時に、物語文の中に使われてい
る豊かな言語表現についてふれた話し合いが授業の中でも行わ
れていくような授業改善に努めていきたいと考 えています。

三 高山さんは「高山さんの文庫」を読み返し、習っている漢字がらがらなになっていた漢字に書き直すことになりました。次の「部ア」イを漢字でいはいに書きましよう。

三 高山さんは「高山さんの文庫」を読み返し、習っている漢字がらがらなになっていた漢字に書き直すことになりました。次の「部ア」イを漢字でいはいに書きましよう。

ア ぎょうざの作戦を考えたりします。

上級生が速くからボールをい上げる

資料 1

【読さんの読書の記録】

四 読さんの学級では、日ごから決めた本を記録して、次は「読さんの読書の記録」です。読さんは自分の読書を読み返し、気づいたことを、下の1から4までの枠から、その番号を書きましよう。

1 読書を通して、学校図書館や地元の図書館の利用の方法を知ることができたと気づいた。

2 読書を通して、科学的な事実について、疑問に思ったことを調べて解決できたと気づいた。

3 読書を通して、自分が文章を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができた気づいた。

4 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができた気づいた。

資料 2

さんすう
【算数】

領域	算数
数と計算	下回っている
図形	ほぼ同じである
変化と関係	下回っている
データの活用	下回っている

資料3 は、問題文にあった四則計算を選択する問題ですが、問題文の読み取り方に課題が見受けられました。資料4 は、除数が10分の1になった時の商の大きさを考える問題、資料5 は速さの問題ですが、子どもたちの解答を見ると、「この四則計算をすると何が求められるのか」といった見直しを持つことに課題があると考えられました。

同時に、問題文の場面等の状況把握や数量の関係性をつかむことにも課題があるのではないかと考えられました。表や図を用いることで、数量関係を明らかにしたり、場面把握が的確にできたりするような授業展開が必要であると考えられます。

また、主体的かつ効果的に表や図を用いられるようにしていくことも求められます。自らの考え方を明らかにするために、授業中におけるノート指導を強化し、子どもたちが、主体的に自らの考えを構築できるようにしていきます。

今回出題されたものの一部を資料として掲載させていただきましたが、どの問題も小学校5年生までに学習した内容となっています。また、受験用の問題とは内容や目的が異なります。子どもたちの学びがどのように構築されているかを分析し、どのような取組が必要かを検討し、これからの授業改善につなげていくことが、この調査の目的の一つです。今後も、今回の調査で明らかになった点を踏まえ、研修を積み重ねていく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

掲載された問題文が、紙面の都合上、小さくなってしまい申し訳ありません。HPにもこの学校だよりを掲載しますので、PC やスマホ等で拡大していただいで、ご確認ください。

(2) たくみさんは、はじめに折り紙を何枚か持っていました。ゆうまささんから38枚もらって、全部で62枚になりました。このことを、たくみさんがはじめに持っていた折り紙の枚数を□枚として式に表します。

- 下のアからエまでの中から、正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。
- ア $62 + 38 = \square$
 - イ $\square + 38 = 62$
 - ウ $\square - 62 = 38$
 - エ $\square - 38 = 62$

資料3

350 kgの米を1人に7 kgずつ配る場合と、1人に0.7 kgずつ配る場合を比べると、どのようなことがいえますか。

350 kgの米を1人に7 kgずつ配ると、50人に配ることができます。

1人に0.7 kgずつ配るとき、配ることができる人数は、50人より **1** 多い **2** 少ない です。

資料4

$350 \div 7 = 50$ です。

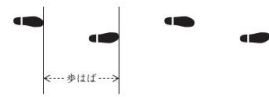
$350 \div 0.7$ の商は、50より **3** 大きい **4** 小さい です。

資料5

4

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

- (1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。家から学校までの道のりは、540 mです。あいなさんの歩はばを0.6 mとします。



家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。 $540 \div 0.6$ を計算しましょう。

- (2) たけるさんは、3分間で180 m歩きました。同じ速さで歩き続けると、1800 mを歩くのに何分間かかりますか。

ブレイクタイム

今、4・5年生で、総合的な学習の時間を利用して手話の学習を行っています。その中で「おはよう」や「こんにちは」といった挨拶の手話を学んだ子どもたち。

朝、いつものように校門で登校指導をしていると、「おはよう」と元気な声で挨拶する子の中に手話でもしてくれる子どもの姿が。学んだことをすぐに使おうとする姿や、楽しく手話を活用する姿がとても微笑ましく、朝から自然と笑顔になりました。きっと家庭でも、手話の話をしているのかなと想像できました。